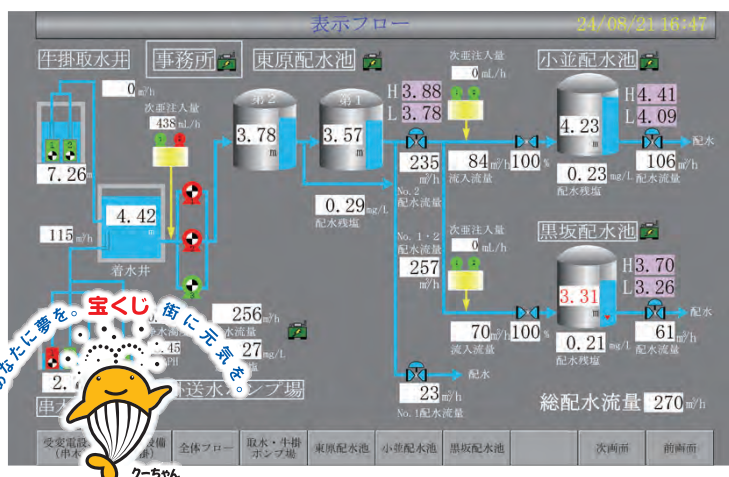


自治みんぞく

No.96
2024.9



● 理事長あいさつ	理事長 池田 宜永	1
● 役員・評議員名簿		1
● わがまちづくり	～串間市制施行 70 周年～『豊かな自然と共存し みんなで創り育てる 多様性と持続性のまち くしま』の実現に向けて（串間市）	2
● 市町村の最前線	子や孫たちが帰ってきたくなるまちづくりを目指して（新富町）	4
● おらがまちの安心安全	安全で安心して暮らせるまちづくりに向けた活動について（小林市）	6
● ザ・まちおこし	「観光で賢く稼ぐ」 民間主導のまちおこし（高千穂町） 8 だんとつ 県内一に居心地がいいまち（西都市） 9 人とまちがキラリ輝く元気なまちづくり（日南市） 10	
● 郷土名物	ワーケーションにも最適！～キャンプ・釣り・水上アクティビティも できる絶景スポット御池で最高の時間を～（高原町） 11 歴史のロマンを感じながらトレッキング 九州オルレ 宮崎・小丸川コース（高鍋町） 12	
● みやざきの歴史再発見！	ひぐち 樋口遺跡～縄文時代から近世までの暮らし～（五ヶ瀬町）	13
● まかっしょけ！ 私たち頑張っちょりま～す。	国富町保健介護課 甲斐 瑤菜さん 三股町企画商工課 西森 侑香里さん 日向市商工港湾課 高木 俊秀さん	14
● 協会だより	資金貸付事業／宝くじ市町村交付金／災害時安心基金 15 市町村職員研修（令和 6 年度研修の様子から） 20 令和 6 年度研修の計画から 22	
● 市町村振興事業	市町村窓口業務改善事業 23 市町村・地域づくり団体等協働モデル事業 23 市町村職員自主研究グループ支援事業 24	
● 特集	令和 5 年度海外派遣研修報告 高千穂町 田崎 友教さん	25

表紙写真 一ツ瀬川営農飲雑用水広域水道企業団

一ツ瀬川営農飲雑用水広域水道企業団は、西都市・新富町・高鍋町・木城町にまたがる 1 市 3 町の一ツ瀬川と小丸川に囲まれた高台地に給水を行うために、昭和 57 年に設立された一部事務組合です。地方公営企業の経営に関する事務を共同処理する一部事務組合のことを企業団といいます。

当企業団では、協会の資金貸付事業を活用し、中央監視システムの更新及び増設を行いました。

このシステムは、取水井や配水池など施設の状況を監視する水道水の安定供給にかかせないシステムです。



宝くじキャラクター「クーちゃん」

サマージャンボ宝くじとハロウィン宝くじの収益金は、市町村の「明るく 住みよいまちづくり」に使われています。

■ 理事長あいさつ

はじめに

当協会は、市町村振興宝くじ（通称サマージャンボ宝くじ）の収益金等を活用し、市町村の財政支援のための貸付事業や職員研修事業等、市町村を支援する事業を行い、もって住民福祉の増進に資することを目的に昭和54年に設立され、平成23年に公益法人に移行いたしました。



平成10年には研修事業を充実させることを目的に、市町村職員研修センターを設置しました。当センターでは、「市町村職員研修基本計画」に基づき、急速に変化する社会環境に的確に対応できるよう多様な研修を企画・実施し、職員の人材育成に努めているところです。

今年度は特に、eラーニングを試行的に取り入れるなど、オンライン研修の実施とともに、全ての職員が受講しやすい研修環境の整備に取り組んでいるところです。

また、新市町村振興宝くじ（通称ハロウィンジャンボ宝くじ）の収益金等を少子高齢化対策や芸術・文化の振興、地域経済の活性化など地域課題の解決に対応するための財源として、全額を全市町村へ交付しております。

さらに、平成19年に県及び市町村と共同で災害時安心基金を設置し、迅速な支援確保の観点からその管理運営に携わっており、被災市町村に対する支援金の交付をもって被災住民の支援を行っております。

今後とも、当協会の果たすべき役割を認識し、市町村振興に資する事業に取り組んでまいりますので、サマー・ハロウィンの両ジャンボ宝くじの販売促進をはじめ、当協会の運営について更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年9月

公益財団法人 宮崎県市町村振興協会

理事長 池田 宜永

■ 役員・評議員（令和6年7月1日現在）

役員

理事長	池田 宜永	宮崎県市長会会長 都城市長（代表理事）
常務理事	永井 裕子	宮崎県市町村振興協会事務局長（代表理事）
理事	島田 俊光	宮崎県市長会 串間市長
	佐藤 貢	宮崎県町村会会長 日之影町長
	木佐貫 辰生	宮崎県町村会副会長 三股町長
	前本 尚登	宮崎県市議会議長会会長 宮崎市議会議長
	指宿 秋廣	宮崎県町村議会議長会会長 三股町議会議長
	小園 真二	宮崎県総務部市町村課長
監事	河野 貴弘	宮崎県市長会事務局長次長
	有村 健一郎	宮崎県町村会事務局長

評議員

高橋 透	宮崎県市長会 日南市長
小嶋 崇嗣	宮崎県町村会 新富町長
近藤 日出夫	弁護士
根岸 裕孝	宮崎大学地域資源創成学部副学部長 教授
松浦 好子	宮崎県自治学院 院長

～串間市制施行70周年～『豊かな自然と共存し みんなで 創り育てる多様性と持続性のまち くしま』の実現に向けて



串間市長
島田 俊光

はじめに

串間市は宮崎県の最南端に位置し、東部は日向灘、南部は志布志湾に面しており、北部は都城市及び日南市に隣接しています。年平均気温は17.7度、年間日照時間は全国でも高い2,031.5時間と、1年を通じて温暖な気候に恵まれています。また、国指定天然記念物の野生馬である岬馬が生息する『都井岬』や芋を手で洗い食べる文化を持つサルといわれる野生猿が生息する『幸島』、全国有数のサーフスポットである『恋ヶ浦』など、豊富な自然があります。

自然資源などを生かした感動体験を提供

これらの自然資源などを持続可能なかたちで保護・活用するため、平成24年（2012年）から『エコツーリズム』に取り組んでいます。エコツーリズムとは、地域の自然や歴史、生活文化を対象に、その保全にも配慮しながら地域の魅



串間市を代表する観光地の都井岬

力を体感できる感動体験を提供して、『持続可能な地域』と『地域の元気づけ』を目指す取組です。平成26年（2014年）に『串間エコツーリズム推進協議会』が設立され、平成29年（2017年）には推進全体構想が九州初の国の認定を受けました。

主な認定メニューとして、岬馬を含めた都井岬の魅力を深く楽しめる『都井岬野生馬ガイド』や漁師と一緒に魚を獲れる『ホンモノ！！定置網体験』などがあり、当市の魅力を体験できる多彩なプログラムが盛りだくさんです。



串間の海と綱引き！

ゼロカーボン社会の推進

串間市は令和2年（2020年）12月、『ゼロカーボンシティ宣言』を宮崎県内で初めて表明しました。ゼロカーボンとは、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を、森林などが吸収する量以下にすることで、実質的な排出量をゼロにするための取組を指しており、当市では再エネ・省エネや省資源化、再造林などの推進による実現を目指しています。

令和4年（2022年）11月には、地球温暖化対策の国際的枠組み『パリ協定』の目標達成に地域から貢献することを世界に誓う『世界気候エネルギー首長誓約』に署名しました。さらに本年5月



「串間風力発電所」～風車23基を設置した九州最大規模の陸上風力発電所～

には、環境省が交付する『地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）』の採択を受けるなど、環境未来都市として発展するため歩みを続けています。

今年度の施政運営について

市民の生命・財産を守り、市民福祉の向上と経済回復を図るとともに、さらに深刻化する人口減少に歯止めをかけるため、「物価高騰などからの地域経済の回復」「人口減少対策の取組強化」

「持続可能な魅力あるまちづくり」の3つの基本的な考え方のもと、重点施策に注力しています。

このうち最重要課題である人口減少対策について、結婚支援の推進や子育て支援などを充実させる自然減抑制と、移住・定住支援の強化や農林水

産分野における就業促進などを行う社会減抑制の複数事業を『人口減少対策パッケージ』としてまとめ、事業展開の「見える化」を行い、分野横断的な連携体制の下、全庁的に取り組んでいます。

終わりに

串間市は、本年11月3日に市制施行70周年を迎えます。それを記念して、次世代を担う子どもたちの健全育成と地域活性化を目的とした『じい・ばあ・ちびっこふれあい運動会』や市民へのSDGsの普及・理解度向上を図るためのセミナーを開催する『SDGs推進事業』などの市民参加型事業を行います。また、『市制施行70周年記念式典』や『記念誌作成』などの節目を記念する事業も実施します。

これまで市民とともに築き上げてきたまちづくりの成果を尊重しながら、今後も市民と一体となり「豊かな自然と共存し みんなで創り育てる多様性と持続性のまち くしま」の実現に向けて尽力してまいります。



串間市市制施行70周年

70周年記念ロゴ（豊かな自然に恵まれ、多様性、持続性、未来に向け飛躍する串間市の魅力を表現しています）

人口減少対策パッケージ



～子や孫たちが帰ってきたくなる まちづくりを目指して～

新富町は宮崎県のほぼ中央部の沿岸地帯にあり、北は高鍋町、西は西都市、南は宮崎市と接しています。総面積61.48km²、東西約9km、南北約7kmのほぼ四角形です。



航空祭（エアフェスタ）

北西部の高台一帯には、円形古墳や前方後円古墳など230基余りが散在し、その名も新田原古墳群と称しています。町の中央部高台地帯には航空自衛隊新田原基地があり、国土防衛の役割を果たしています。

農地面積は約2,600ha、水田地帯では早期水稻、施設園芸が盛んで、トマト、キュウリ、ピーマンなどが栽培されています。畑地帯ではメロン、タバコ、茶が栽培され、豚、養鶏、肉牛、酪農などの畜産も盛んです。

さて、当町は「子や孫たちが帰ってきたくなる町づくり」を施策の基本ビジョンと定め、「住んでみたい」「住み続けたい」「住んでいてよかった」「将来は帰ってきたい」と思われる町を目指しています。

その中でも近年、子育ての負担や不安、孤立感が高まり、教育・保育や地域における子育て支援などへのニーズが多様化しています。そこで、当町においては、子ども・子育て支援新制度の実施主体として、その取組を計画的に推進していくため、「第2期新富町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、更なる子育て環境の整備に取り組んでいます。



学校給食



その施策の1つとして、5つの無償化事業を柱に子育て世帯の負担軽減に努めています。主な内容としては、①妊婦・乳児健康診査の無償化、②保育料の無償化、③子ども医療費の無償化、④学校給食費の無償化、⑤国民健康保険税の中学生までの均等割無償化など、手厚い支援を行っています。

今では、県内随一の「サッカーのまち」として定着しつつある新富町。いちご宮崎新富サッカー場をはじめ、昨年完成した宮崎トヨタの物流センターや新富町フットボールセンター、今後完成予定の直売所や新富スマートインターチェンジ（仮称）など、新富町の町並みは年を追うごとに進化しており、新富町の関係人口も徐々に増加しています。自然豊かで子育て支援が手厚く、農畜産とスポーツも盛んな新富町にぜひお越しください。



いちご宮崎新富サッカー場



新富町フットボールセンター



新富町農畜産物直売所（令和6年12月オープン予定）

安全で安心して暮らせる まちづくりに向けた活動について

小林市は、北部は熊本県、南部は鹿児島県に接している人口約4万2,000人のまちです。

南西部には霧島連山が、北部には九州山地の山岳が連なり、緑豊かな森林や高原が開け、清らかな河川とその流域には優良農地が広がり、ジオサイト（地質遺産）、温泉や湖沼などの個性豊かな地域資源が多くあります。

小林市のウリは、なんといっても「水」。市内には約75か所の湧水があり、出の山湧水は名水百選に選ばれており、美しい自然が残るまちです。

小林市では、「安全で安心して暮らせる小林市の実現」を目標に、様々な交通安全・防犯活動を実施しています。ここからは、活動の一部をご紹介します。

1つ目の活動は、「街頭キャンペーン」の実施です。「街頭キャンペーン」とは、小林市、小林警察署、小林地区交通安全協会と小林地区防犯協会が連携を取って、人が集まる場所や交通量の多い道路の路側帯に立ち、交通安全や防犯を啓発する為のリフレクターや自転車ロックなどの啓発グッズを配布する活動になります。市民の方に手渡しする際に、軽い会話を交わすことで、コミュニケーションを図ることができるため、より一層強い啓発になると考えています。



商業施設前での街頭キャンペーン

2つ目の活動は、防災ラジオ、小林市メール配信サービスや小林市公式LINEを活用した交通安全・防犯情報の周知です。一つ目の活動では、周知できる数にどうしても限界があります。そこで、より広く周知をするために、各家庭に配布をしている「防災ラジオ」や小林市の方々に多く登録いただいている「小林市メール配信サービス」や「小林市公式LINE」を使い、交通安全・防犯に関する情報を発信しています。

3つ目の活動は、年2回実施する全国交通安全運動や、県独自の「冬の交通安全県民総ぐるみ運動」などの期間に青パトで巡回をしています。朝の小学生や中学生が登校する時間に、「気をつけて登校してください」などと呼びかけをしながら青パトで通学路を巡回します。「おはようございます」と挨拶をすると、児童・生徒から「おはようございます！」と元気に返してくれ、活力をもらいながら巡回をしています。



青パトによる通学路の巡回

今回は小林市で行っている、交通安全・防犯活動の一部を紹介しましたが、今回紹介した活動以外にも、交通指導員による児童・生徒の見守りやのぼり旗の設置による啓発など様々な活動を行っています。これからも交通安全・防犯活動に注力し、安全で安心して暮らせる小林市を目指していきます。



道路脇での街頭キャンペーン

「観光で賢く稼ぐ」民間主導のまちおこし

天岩戸神社は、太陽神、天照大御神がお隠れになった神話の舞台としても知られ、多くの参拝者が訪れる観光スポットです。その天岩戸神社ですが、これまでは参拝者は隣接する無料の駐車場を利用し参拝できたため、鳥居前に繋がる周辺の商店街などには立ち寄らず、通りの賑わいには繋がっていないという課題がありました。



有料化された天岩戸神社前駐車場

岩戸地区では以前から地域住民主導で「まちづくり協議会」を立ち上げ、地区内に点在する神社めぐりや、フォトスポットを巡ってもらう広域観光マップの作製などに取り組んできました。

その様な地元の熱意を受け、町と県では国の補助事業等を活用し、歩いて楽しい通りの再生、歩いてもらうための導線づくりに着手し、事業が進捗しています。

町では国の「都市再生整備計画事業」を活用し、天岩戸神社前のいわゆる「門前町通り」を神社前に相応しい石畳風の舗装に変更したほか、空き家スペースを活用し岩戸川の渓谷を見下ろすポケットパークを整備、さらに地域の活性化拠点及び観光客との交流の場として「天岩戸交流センターあまてらす館」を整備しました。また、駐車場不足の解消と商店街を歩く導線を作るため、川を隔てた2か所に新たな観光駐車場を整備しました。



石畳風の舗装になった天岩戸神社前の通り

宮崎県には地域の要望を基に、新設駐車場から天岩戸神社にアクセスする岩戸川に、県道として新たに神話の舞台に相応しい装飾を施した歩道橋を整備していただきました。

このような整備も進む中、岩戸地区では新たに昨年3月「一般社団法人いわとむら」を設立し、さらに地域全体で観光振興を図り、収益を岩戸地区全体に還元し地域発展に寄与しようという取組がスタートしました。その財源としてまず、神社に隣接する駐車場の有料化を今年4月から開始。今後は「天岩戸交流センターあまてらす館」の管理運営や新たな観光振興策も模索していくようです。



天岩戸交流センター あまてらす館

町としては、地域主導の観光で賢く稼ぐ、また観光拠点を核として地域全体を活性化し



神楽の装飾をした歩道

ていくというこの取組は、観光まちおこしのモデルになるものと期待しています。

だんとつ 県内一に居心地がいいまち

「平成」から「令和」へ新時代を迎えたころ、地域の有志らが、まちの事業者（供給者）の目線ではなく、利用者側（受給者）の目線でまちづくりを行いたいと「まちづくり協議会」を発足させました。市民の意見を背景に議論を重ね、民間のまちづくりと行政の地方創生、それぞれの直面している課題は同じです。互いに連携し、地方創生を推進するまちづくり会社をつくらうという結論にたどり着き、令和3年（2021年）9月28日“一般社団法人まちづくり西都 KOKOKARA（以下、KOKOKARA）”が誕生しました。

県内初の地域再生推進法人の指定を受けている KOKOKARA は、「次世代を担う人材と経済の活性化を追求し、明るく豊かな西都未来創生（まちづくり）に貢献すること」を経営理念に、西都経済の活性化と次世代を担う人材の育成という2つの柱を中心に事業を行っています。

事業は、①さいと未来のまちづくり会議の企画・運営、②まちづくりサークル「SAITO BASE」の活動支援、③地域おこし協力隊の活動支援、④シティプロモーションの企画・運営、⑤移住・定住支援センターの運営、⑥創業・事業承継支援センターの運営、まちなか活性化イベントの実施、⑦まちなか誘客イベントの実施、⑧フリースペースの管理・運営、⑨まちなかイルミネーションの企画・PR、⑩地



さいと未来のまちづくり会議の様子

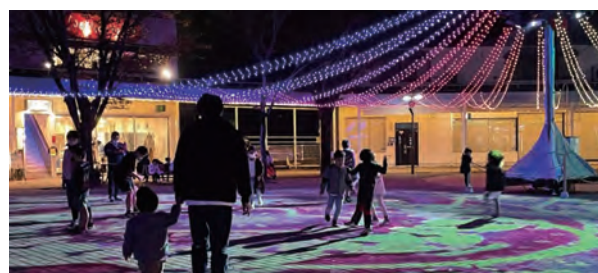
域情報サイト「西都ゆるなび」の企画・運営、⑪観光コンテンツの開発、⑫地域資源を活用した商品の開発など、まちの活性化につながる事業を多岐にわたって行っています。

人口減少と少子高齢化が加速していく

なか、持続可能なまちづくりを行っていくためには、目の前の地域課題を解決することではなく、解決することのできる人材を育てることが必要です。そのため、KOKOKARAでは、高校生から45歳までの若い世代の目線でまちづくりに取り組んでいます。「子どもたちの未来に、誇れる西都市を残したい」という思いをもって、KOKOKARAは、これからもいろいろなことにチャレンジしていきます。



Branch Marcheの様子



まちなかイルミネーションの様子



KOKOKARAのスタッフ

人とまちがキラリ輝く元気なまちづくり

「切れ目のない労働力の確保に向けて」ACにちなんの取り組み

日南市においては、観光業や農業は、繁忙期と閑散期の差が激しく、労働需要が安定していないために人手不足が生じるといった課題があります。こうしたことから当市では特定地域づくり事業協同組合制度を活用し、各産業の仕事を組み合わせながら年間を通じた雇用の創出に努めています。

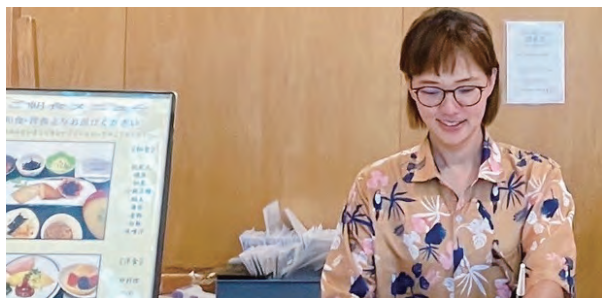


ホテルでの仕事に魅力を感じ、派遣後1年半でホテルに就職

令和5年（2023年）1月30日に県知事認定を受けた「ACにちなん事業協同組合」では、組合で雇用した職員を労働需要に基づき各産業に派遣することで新たな地域の担い手を確保し、課題となっている人手不足の解消を図っています。

組合のこれまでの取組により、派遣先の企業では「業務の効率化」が図られ、派遣した職員（その多くは移住者）が派遣先の企業で「直接雇用される」といった効果が生まれています。

当市では、専門スキルに特化したマルチワーク形態の構築に向けた研修などを通じて組合の取組を支援し、さらに多くの業種・業態の人手不足の解消に取り組んでいきます。



サーフィンをきっかけに移住。ホテルや農家の仕事に従事。将来の夢はカフェをオープンすること

まち全体が働きたくなる地域になるように～日南市企業連携協議会の挑戦～

全国的に少子高齢化が進む中、当市では、人材確保や雇用定着に課題を抱える地元企業が集まり、「日南市企業連携協議会」を発足し、令和4年度（2022年度）から、やりがいを持って働ける環境をつくるための活動を行っています。

具体的な取組としては、以下のとおりです。

- 1 同じ地域で働く仲間と交流を深め、地域全体で新入社員を迎えられるよう、会員企業合同での入社式を開催
- 2 企業の人事担当者の交流会を開催し、各企業が抱える悩みや知見を共有
- 3 生徒への進路指導に役立てていただくため、地元高校の進路指導教諭へ向けた企業訪問バスツアーや企業説明会を実施
- 4 中高生が会員企業を知る場を設け、将来的な就職に繋がることを目指し、高校生と企業との座談会や職業講話、中学生の企業訪問を実施

当市は、人材確保・雇用定着・人材育成の各面で会員企業が協力し、雇用にかかる課題解決に向けて取り組んでいく協議会を今後もサポートしていきます。



市の指定文化財である「振徳堂」にて合同入社式を開催

ポートランド市は、持続可能な開発と環境への取組で知られるだけでなく、その美しい自然とアクティブな市民社会でも注目されています。市内を歩くと、公園や緑地が豊富にあるとともに、市民が自ら地域の美化に努めており、地域社会の一体感と責任感が感じ取れました。持続可能な開発への取組や市民の環境意識の高さは、行政と市民が協働して地域の未来を築いていく重要性を改めて示しています。

以上が今回の研修で最も印象に残ったポートランド市の概要ですが、実は上記の文章は生成AIが作成したものです。私が書きたいことを生成AIが忠実に文章にしてくれましたので、業務効率化も考慮し、大変恐縮ですが、そのまま掲載しました。

話が逸れましたが、昨年の海外派遣研修は4年ぶりの開催で、米国のポートランド市とロサンゼルス市を訪問しました。



ビトック邸からのポートランド全景

VUCAの時代とも言われるように、この4年間で世界は激変し、海外でもその一端を垣間見ることができる研修でした。上記のように文章作成を生成AIが担うようになったことは昨今の変化のほんの一例ではありますが、そのよう



ポートランド市内のごみ箱

な世の中において、地方公務員に求められる役割や能力も変化していると思います。2都市の各所を訪問し、前例踏襲や既得権益に捉



住民目線で導入された路面電車

われることなく、物事の本質を見極める重要性を学び、地方公務員としての使命感を再確認することができました。

末筆になりますが、今回の研修では、現地にて対応してくださった方々や市町村振興協会の皆様には大変お世話になりました。また、私は班長という役職を頂きましたが、研修を共にした他自治体の11名の職員の皆様からは、広範な知見や独創的な着想、そして刺激的なインスピレーションを享受しました。おかげさまで、市町村の発展や社会の変革に必要なことを学ぶ有意義な研修となりました。関係者の皆様に心から感謝申し上げるとともに、今後も海外派遣研修が成果豊かなものとなることをお祈り申し上げます。



ポートランド市の路面アートと街並み



ロサンゼルス市での集合写真

編集後記

8月8日の日向灘沖を震源とする地震と28日からの台風10号により、多くの被害が発生しました。

被災された皆さんに対しまして、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

さて、今年の夏もかなり厳しい暑さが続いていましたが、お盆を過ぎたあたりからなんとなく風に優しさを感じてきました。

こうした中、ようやく「自治みやざきNo96」の発行を迎えました。発行にあたっては、今回も県内の多くの自治

体や一部事務組合の皆さんの協力をいただきながら、それぞれの市町村などの様々な情報を紹介することができました。改めて、今回の発行に際して快く寄稿くださった関係者の皆さんにお礼を申し上げます。

「自治みやざきNo96」が県内市町村をはじめとする関係者の方々に届く頃にはすっかり夏が終わり、実りの秋を迎え本格的な行楽シーズンが始まります。

「澄んだ青空 広がる海 高々とそびえる山々・・・素晴らしい景観にグルメに様々なイベント」

今回、紹介いただいた市町村を一つでも多く訪ねて行楽の秋を満喫したいと思います。



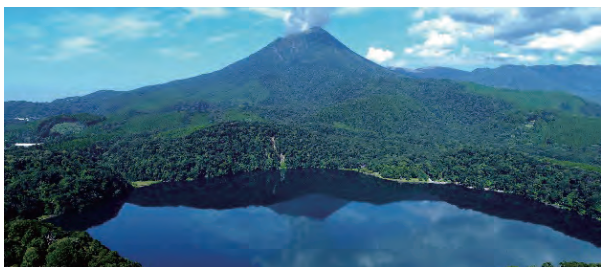
ワーケーションにも最適！

～キャンプ・釣り・水上アクティビティもできる絶景スポット御池で最高の時間を～

高原町の南西部に位置する御池。

最大の魅力は何とんでもその雄大な景色！

国道223号線沿いにある皇子港は、キラキラと輝く湖面に霧島連山の秀峰「高千穂峰」を映し出す水鏡が訪れる人々の心を奪う絶好のフォトスポットです。



周囲4kmにもなる御池と高千穂峰との景色は圧巻

また、カヤックやサップ、足漕ぎボートなどの水上アクティビティも充実しており、湖上でのアドベンチャーを楽しむこともできます。



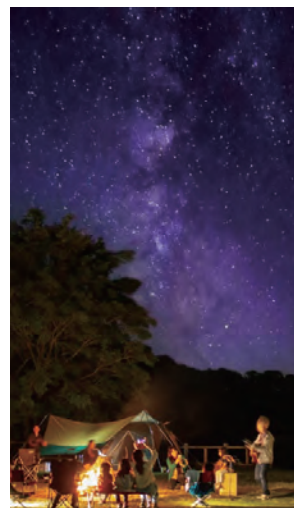
子どもから大人まで楽しめるアクティビティも充実

皇子港対岸の御池キャンプ村には、コテージやテントサイトが整備され、キャンプや釣りといったアウトドアを満喫できるほか、隣接する国指定の野鳥の森では、これまで150種類以上の野鳥が確認されており、バードウォッチングの人気スポットでもあります。



キャンプ村には電源付きキャンプサイトやトイレ・シャワー室も完備

さらに、キャンプ村内では、Wi-Fi環境や1人からでも利用可能なミーティングルームも整備され、大自然の中でのワーケーションを楽しむことができます。御池特有の非日常の空間が利用者の五感を研ぎ澄ませ、仕事も効率的に進むこと間違いなしです。

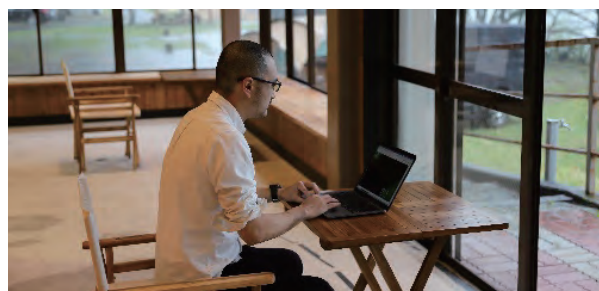


夜には満点の星空の下で天体観測も



御池野鳥の森にはヤイロチョウやアカショウビンなど珍しい野鳥も飛来

そして、御池周辺には、全国でも希少な高濃度炭酸泉や鉄分豊富な鉱泉を誇る「奥霧島温泉郷」が存在し、全温泉に完備されているサウナと相性抜群の霧島裂罅水の水風呂とともに多くの観光客に愛されています。美しい自然景観、豊かな生態系、多彩なアクティビティ、癒しの温泉も楽しめる御池で、ぜひ、特別な時間をお過ごしください。



レンタル用品も充実でワーケーションも快適に過ごせます



歴史のロマンを感じながらトレッキング 九州オルレ 宮崎・小丸川コース

「オルレ」という言葉をご存じですか？

これは韓国の済州島から始まったもので、海岸線や山などの自然、民家の路地などを歩くトレッキングコースのことです。

九州オルレは「済州オルレ」の姉妹版で、九州各地にその地域の自然や文化、温泉などを楽しめる個性豊かなコースが設定されています。



コースでは毎年九州オルレフェアを開催。
県外からも多くの方が訪れます。

宮崎県で唯一の九州オルレのコース「宮崎・小丸川コース」は、高鍋町と木城町をまたがる約14kmのコースです。

木城町の比木神社をスタートし、城山公園や持田古墳群、大年神社などを通して鴨野浜へと向かうこのコースは、今から約1300年前の朝鮮半島百済王国滅亡により漂着した百済王族の足跡にちなんだものです。

所要時間は4.5～5.5時間とボリュームたっぷりのコースになっていますが、コース上に設置されたカンセと呼ばれる済州島の馬をモチーフにしたオブジェや青と赤のリボン、木



コースの途中に設置されているカンセ。頭が向いているのが進行方向です。



青の矢印は正方向、赤の矢印は逆方向になります。

製の矢印やペイントされた矢印などの目印に沿って歩いていけば、自然の豊かさや歴史のロマンを体感することができます。



自分のペースでゆっくり楽しめるのがオルレの特徴。
途中の温泉やグルメも楽しみの一つです。

コースの詳細や見どころは九州オルレホームページからご確認くださいませ。

皆さんもぜひ一度、宮崎・小丸川コースで歩く楽しみを感じてください。



小丸川の上流から下流へ向かう宮崎・小丸川コースのゴールは海。開放的な眺めに疲れも吹き飛びます。

みやざきの歴史 再発見!

樋口遺跡

～縄文時代から近世までの暮らし～

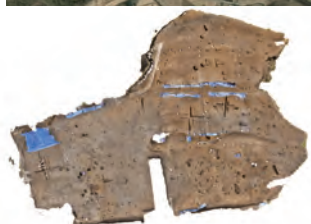


五ヶ瀬町

樋口遺跡（五ヶ瀬町三ヶ所）は、五ヶ瀬川の支流
室野川に面する南向き斜面に立地し、以前は段々
畑として利用されていました。周辺には、平成4
年（1992年）に発掘調査が行われた古墳時代の
広木野遺跡や三ヶ所村古墳、中世の原城跡等が分
布し、肥後と日向を結ぶ旧道である日向往還が
通っていました。

調査の結果、竪穴住居跡や掘立柱建物跡、陥し
穴跡、縄文時代の打製石鏃や弥生時代から古墳時
代の土器、中世の貿易陶磁器（中国産）などが見
つかりました。

土器の中には、九州山地を中心に分布する免田
式土器や、熊本県内で多く出土する脚台付き土師
器甕の破片も含まれており、近隣地域との交流がう
かがえます。また、縄文時代の陥し穴跡や打製石鏃
が見つかったことから、この斜面が弥生時代以
前には狩猟の場として使われていたことが分かりま
した。【令和3年（2021年）9月21日遺跡登録】



樋口遺跡説遺構分布図



樋口遺跡で出土した遺物の一部



免田式土器

（弥生時代後期～古墳時代初
頭）熊本県から宮崎県内に分
布する土器。同心円文を配し
た首の長い壺が特徴。



打製石鏃（チャート製）

石を打ち欠いて作られた矢
じり。矢の先端に装着さ
れ、狩猟などに使われた。
※破線は補足

陥し穴跡

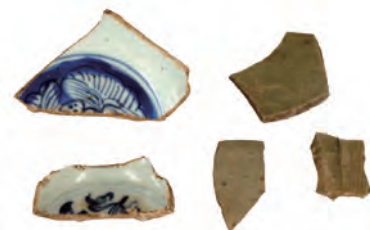
2基の陥し穴跡が見つかり
ました。そのうち1基は、
長さ1.3m、深さ1.4mで上
から見ると角の丸まった長方形の形をしています。ほか
の発掘調査で見つかった類例から、縄文時代のもものと推
定されます。



竪穴住居跡

1軒の竪穴住居跡が見つ
かりました。段々畑の造
成により斜面が整地され
た際に住居の南側は削平
され失われています。住
居跡の中央には火を使っ
た事を示す焼土があり、

床からは屋根を支える柱を据えた柱穴が見つかりまし
た。周辺の出土遺物の状況から、弥生時代後半から古墳
時代初め頃の住居と考えられます。



中国南東部の釜で焼かれた青磁器

左：景德鎮窯系青花（16世紀頃）

右：龍泉窯系青磁（14世紀から15世紀頃）



まかっしょけ!

私たち頑張っちょりま〜す。



国富町保健介護課
甲斐 瑠菜さん



保健介護課の管理栄養士、甲斐 瑠菜（かい たまな）さんをご紹介します。

入庁2年目の瑠菜さんは、おっとりした性格、誰にでも優しい人柄から“たまちゃん”の愛称でみんなに可愛がられています。職場の先輩や同僚のお誘いに喜んで参加する人付き合いの良さは素晴らしい!

休日は家でのだんびりではなく、ドライブやライブなど趣味を満喫する行動派という一面もたまちゃんの魅力です。

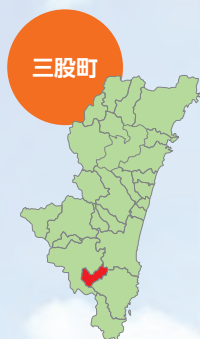
管理栄養士として、乳幼児から高齢者までの健康づくりをサポートするため幅広い豊富な知識を要する業務に携わっています。相手の相談をよく聞き丁寧で穏やかな口調で対応しています。

堅実で努力家、周囲への気配りがしっかりできるたまちゃん、自分しか出来ないことを探求し、挑戦して更なる成長を期待しています。

(保健介護課 主幹兼健康推進係長 佐土原 和也)



三股町企画商工課
西森 侑香里さん



故郷で新たなキャリアをスタートさせた西森 侑香里（にしもり ゆかり）さん。

前職は、都城市の某有名酒造メーカーに勤務し、製造工程で発生する焼酎粕などをリサイクルし、地域に還元する取り組みを研究していたというリケジョ♪

現在、企画政策係で町の移住・定住及び少子化対策を担っており、キャリアを生かし、「探究心」を持って真摯に仕事に向き合う姿勢は、入庁2年目ながらも周囲やお客様からの信頼も厚く、また、いつも素敵な笑顔で戦場と化す職場の雰囲気をも柔らかくしてくれます。

そんな侑香里さんは、今年3月にめでたく入籍。公私ともに希望に満ちた充実した日々を送っています♪

これからの役場人生、未知の領域を探究することは、きっと素晴らしい成果に繋がります。今後の更なる活躍を心から期待しています!

(企画商工課 企画政策係長 高山 秀栄)



日向市商工港湾課
高木 俊秀さん



商工港湾課に新しくやってきた高木 俊秀（たかき としひで）さんをご紹介します。

幼少期からサッカーボールを追いかけて、中学生時代には県選抜メンバーに選ばれ、主将を務めるほどの腕前です。現在も社会人チームでプレーし、22歳にして競技歴は17年の筋金入りのサッカー好きです。

今年4月からは中学生クラブチームのコーチも兼任し、夕方や週末に後輩の育成にも励んでいます。

当係の業務は中小企業支援が中心で、地域活性化に貢献する重要な役割を果たしています。入庁したばかりで緊張もありますが、サッカーで培ったコミュニケーションスキルは抜群で、笑顔も魅力的です。日向市の未来を担う今後の活躍に期待しています。

(商工港湾課 課長補佐 黒瀬 志穂)

宝くじ収益金を様々な事業に活用しています

当協会は、市町村振興宝くじ（サマージャンボ等宝くじ）の収益金を、市町村の振興支援資金として効果的に活用するため、これを積立て、有効かつ適正な運用管理を行うことで、全県的な視野に立った事業展開に努めています。

昭和54年4月の設立以来、市町村の公共施設整備等のための資金融資、職員の研修、市町村振興のための助成、調査研究など、様々な事業を実施しています。

また、平成13年度に創設された新市町村振興宝くじ（ハロウィンジャンボ宝くじ）の収益金を地方財政法第32条に定める事業の財源として、積極的に活用できるよう全額を全市町村に交付しています。

① 資金貸付事業

市町村における災害防止対策や、緊急に整備を要する施設等の整備に対して資金の貸付事業を行っています。本事業の財源は、宮崎県から交付される市町村振興宝くじ（サマージャンボ宝くじ）交付金を積み立てた宝くじ積立資産を原資とし、貸付利率は、貸付実行日における政府資金（財政融資資金）の利率を基準として、一般財団法人全国市町村振興協会の市町村振興基金貸付利率に準じた取り扱いとしています。

地方債資金としての長期貸付と、一時借入金としての短期貸付があり、概要は次のとおりです。

(1) 長期貸付

- 償還期限： 5年（うち据置期間1年） 10年（うち据置期間2年）
12年（うち据置期間2年） 15年（うち据置期間3年）
20年（うち据置期間4年）
- 貸付日： 5月24日、3月24日
- 貸付予定： 令和6年度 5市6町1一部事務組合（53事業） 2,325,100千円
- 貸付実績： 令和5年度 4市5町2一部事務組合（26事業） 1,031,600千円
令和4年度 6市6町1一部事務組合（24事業） 1,020,700千円
- 主な事業： 中央監視制御装置内LCD更新工事（一ツ瀬川営農飲用水広域水道企業団）
都農・川南分遺所消防庁舎建設事業（宮崎県東児湯消防組合組合）
単身者住宅建設事業（美郷町）

(2) 短期貸付

- 償還期限： 貸付年度内
- 貸付日： 随時
- 貸付実績： 令和4・5年度 実績なし
令和3年度 1市2件（宮崎市） 2,714,200千円

② ハロウィンジャンボ宝くじ(新市町村振興宝くじ) 交付金市町村交付状況

ハロウィンジャンボ宝くじ(新市町村振興宝くじ) 交付金は、地方財政法第32条に定める事業の財源として積極的に活用できるよう、交付金のすべてを全市町村に交付しています。

令和5年度配分額 153,648,252 円 (うち時効金 6,005,360 円)

預金利息 214 円

交付額 合計 153,648,466 円

(単位：千円)

市町村名	令和5年度交付額			令和4年度交付額			備 考 (H17.4.1 現在の市町村数)
	均等割	人口割	計	均等割	人口割	計	
宮 崎 市	1,970	38,436	40,406	2,075	40,495	42,571	5 市 町
都 城 市	1,970	15,384	17,354	2,075	16,209	18,284	5 市 町
延 岡 市	1,970	11,338	13,308	2,075	11,946	14,021	4 市 町
日 南 市	1,970	4,870	6,840	2,075	5,131	7,206	3 市 町
小 林 市	1,970	4,182	6,152	2,075	4,406	6,482	3 市 町
日 向 市	1,970	5,711	7,680	2,075	6,017	8,092	2 市 町
串 間 市	1,970	1,611	3,581	2,075	1,697	3,773	
西 都 市	1,970	2,740	4,710	2,075	2,887	4,962	
えびの市	1,970	1,689	3,659	2,075	1,780	3,855	
三 股 町	1,970	2,451	4,421	2,075	2,582	4,658	
高 原 町	1,970	827	2,797	2,075	872	2,947	
国 富 町	1,970	1,762	3,732	2,075	1,856	3,932	
綾 町	1,970	664	2,634	2,075	700	2,775	
高 鍋 町	1,970	1,908	3,878	2,075	2,010	4,086	
新 富 町	1,970	1,586	3,556	2,075	1,671	3,747	
西米良村	1,970	96	2,066	2,075	101	2,176	
木 城 町	1,970	469	2,439	2,075	494	2,569	
川 南 町	1,970	1,455	3,425	2,075	1,533	3,608	
都 農 町	1,970	949	2,919	2,075	1,000	3,075	
門 川 町	1,970	1,664	3,634	2,075	1,754	3,829	
諸 塚 村	1,970	142	2,112	2,075	150	2,225	
椎 葉 村	1,970	240	2,210	2,075	253	2,328	
美 郷 町	1,970	462	2,432	2,075	487	2,562	3 村
高千穂町	1,970	1,115	3,085	2,075	1,175	3,250	
日之影町	1,970	348	2,318	2,075	367	2,442	
五ヶ瀬町	1,970	333	2,302	2,075	350	2,426	
計 (26)	51,216	102,432	153,648	53,960	107,920	161,881	44市町村

【配分基準】 均等割 1 / 3 人口割 2 / 3

※令和2年度までは激減緩和措置(均等割の1/2を合併前の市町村数とした措置)を行い、令和3年度は廃止とした。

※千円単位で計上したため、端数処理の関係から合計額と一致しない。

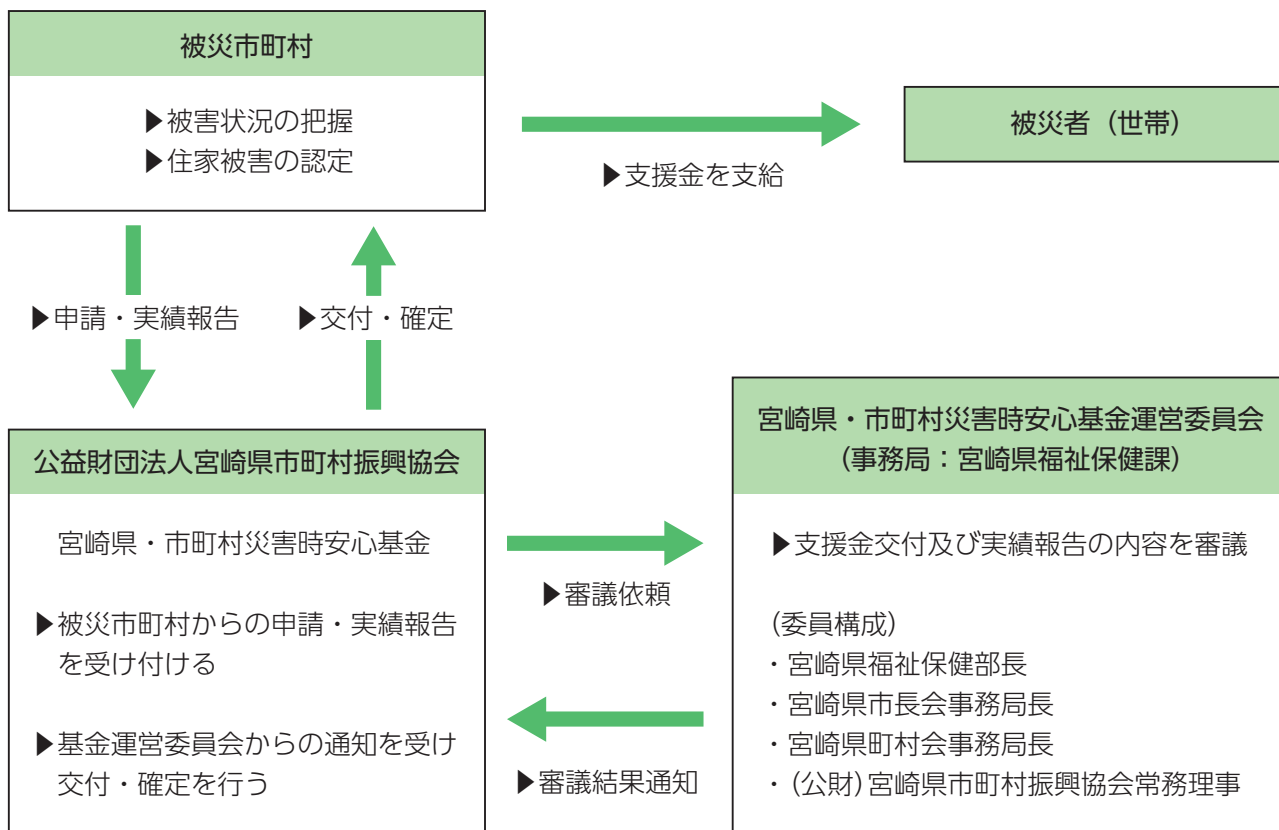
宮崎県・市町村災害時安心基金による被災者支援事業

1. 目的

宮崎県内で発生した自然災害により住家に著しい被害を受けた被災者（以下「被災者」という。）の生活の支援及びその生活基盤に著しい被害を受けた者の生活の再建を支援するため、被災者の支援事業を行う市町村に対し、安心基金を活用して支援金を交付する。

宮崎県・市町村災害時安心基金の概要	
(1) 基金の額	6億円（平成19年度から県、市町村が1億円ずつ3年間積立）
(2) 基金の設置場所	公益財団法人宮崎県市町村振興協会
(3) 適用災害	平成19年度に発生した自然災害から適用 （被災者生活再建支援は令和2年度から適用）
(4) 対象市町村	自然災害により全壊、大規模半壊、中規模半壊、半壊又は床上浸水の住家被害があった市町村
(5) 支援金交付先	被災市町村（被災者へは被災市町村が支給）
(6) 基金の残高	437,093,816円（令和6年3月31日現在）

2. 宮崎県・市町村災害時安心基金による支援金の交付フロー



3. 宮崎県・市町村災害時安心基金による支援金額

(1) 宮崎県・市町村災害時安心基金支援金の額

床上浸水以上の住家被害がある場合の自然災害が対象

住宅の被害程度	全 壊	大 規 模 半 壊	中規模半壊または半壊（床上浸水）
支 給 額	20 万円	15 万円	10 万円

(2) 宮崎県・市町村被災者生活再建支援金の額

国の被災者生活再建支援法が適用された自然災害により、法の適用以外の市町村において住家被害が発生した被災世帯が対象

(単位：万円)

区 分		基礎支援金 住宅の被害程度 ①	加算支援金 住宅の再建方法 ②		計 ①+②
複数世帯 (世帯の構成員 が複数)	全壊 (損害割合 50%以上) 解体 長期避難	100	建設・購入	200	300
			補修	100	200
			賃借	50	150
	大規模半壊 (損害割合 40%台)	50	建設・購入	200	250
			補修	100	150
			賃借	50	100
	中規模半壊 (損害割合 30%台)	—	建設・購入	100	100
			補修	50	50
			賃借	25	25
単身世帯 (世帯の構成員 が単数)	全壊 (損害割合 50%以上) 解体 長期避難	75	建設・購入	150	225
			補修	75	150
			賃借	37.5	112.5
	大規模半壊 (損害割合 40%台)	37.5	建設・購入	150	187.5
			補修	75	112.5
			賃借	37.5	75
	中規模半壊 (損害割合 30%台)	—	建設・購入	75	75
			補修	37.5	37.5
			賃借	18.75	18.75

※賃借は、公営住宅を除く

4. 宮崎県・市町村災害時安心基金を活用した被災者支援の実績

令和5年度の交付は、以下のとおりでした。

(1) 市町村災害時安心基金支援金（被災者生活支援金）

(単位：千円)

市町村名	全 壊		大規模半壊		中規模半壊		半壊(床上浸水)		合 計		事 由
	世帯数	支援金	世帯数	支援金	世帯数	支援金	世帯数	支援金	世帯数	支援金	
延 岡 市							2	200	2	200	令和4年9月 台風14号災害
日 向 市							1	100	1	100	
高千穂町	1	200							1	200	令和5年7月3日 大雨災害
小 林 市							3	300	3	300	令和5年8月9日 台風6号災害
合 計	1	200	0	0	0	0	6	600	7	800	

【令和4年度】 781 世帯 79,800 千円

(2) 市町村被災者生活再建支援金

(単位：千円)

市町村名	全 壊		大規模半壊		中規模半壊		合 計				事 由
	世帯数	支援金	世帯数	支援金	世帯数	支援金	世帯数	基礎額	加算額	支援金計	
日 向 市	1	1,000					1	1,000		1,000	令和4年9月 台風14号
諸 塚 村	1	750	2	2,625	2	875	5	1,625	2,625	4,250	
西 都 市	1	750					1	750		750	
美 郷 町	1	750	5	2,500			6	3,250		3,250	
西 都 市					1	250	1		250	250	
合 計	4	3,250	7	5,125	3	1,125	14	6,625	2,875	9,500	

【令和4年度】 4 世帯 3,500 千円

令和6年度もたくさんの研修を実施しています

宮崎県市町村職員研修センターでは、県内市町村や一部事務組合等の職員の皆さんを対象とした研修を実施しています。

今年度は50コースの研修を実施予定としており、これらの研修が受講生の皆さんのスキルアップに役立ち、住民の方々へのサービス向上へつながりますことを、職員一同心から願っています。

今年度、研修を受講された皆さんの感想を一部ご紹介します。

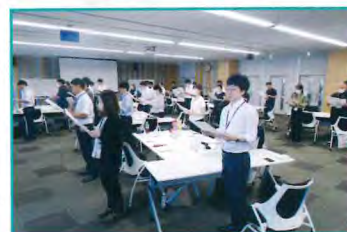
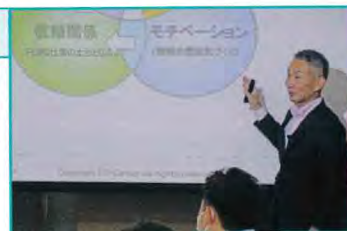
■新規採用職員前期研修（第1回～第5回）※第4回は社会人経験者向け

- 社会のマナーを具体的に知らず、今後が心配であったが、今回の研修で社会人としてのマナーやルール、言葉遣いを知ることができ、自身の成長につながれると感じた。
- 今後成長した自分に出会うために、まずは丁寧な言葉遣いを心掛けることや常日頃の言動を意識することから始めたいと思った。服装や表情、仕草や電話対応など市民の方に安心していただける対応を行うことで信頼関係も築くことができるし、私自身も業務に取り組やすくなると思った。
- 公務員としての基本的な知識やマナーを学ぶことができた。振り返ってみると実際にはできていないと感じることも多かった。自分に今不足している部分や改善すべき点を見直して、住民に寄り添いながらも、高い水準で業務に取り組んでいきたい。
- 社会人枠として求められることや自分が今大切にしていることが改めて分かった。見える化することで分かりやすくなるので、いろんなことを見える化していきたい。
- このような研修がなければ、言葉遣いやビジネスマナーを詳しく学べる場はほかにはないと思う。これからの電話対応や窓口対応で生かしていきたい。



■一般職員研修3（第1回、第2回）

- 職場内や市民等と話す際に、相手の立場を考えながら話すように心掛けたいと思った。また、話し方や話す内容にも気をつけなければ、話す側は知っている、分かっていることも相手にとれば知らないこと、分からないことであり、そこでうまくコミュニケーションが取れない場合があると感じたので、業務で説明を行うときには、日頃からそのことも頭に入れるようにしたい。
- 日頃の業務で、話し方や伝え方について振り返ることがなかったのでよい機会になった。問題がない時にも同僚と積極的にコミュニケーションを取って雰囲気作りに努めたい。
- 業務上のコミュニケーションを行う上で、信頼関係が大切だということは日頃から心掛けていたが、その大切さを改めて実感した。
- 受講者からの質問に対する講師のフィードバックがとても勉強になり、ライブ感のある研修だった。
- 職場でのコミュニケーションの取り方や報告、窓口での伝え方を今回学んだ話法を生かしたい。



■eラーニング メンタルヘルス（一般職員研修1）

- 相談できる先輩や同期がいるので、その人たちとのつながりを大事にして、働きやすい職場環境を整えようと思った。また、プライベートを充実させ、仕事とプライベートのオンオフの切り替えを行いながら、そして仕事を楽しみながら無理なく働いていこうと感じた。
- セルフケアをしっかりとできるように、常に自分の心身の体調に配慮する。コーピングを試みる。相談することを躊躇しない。
- 心身の健康を保つためにも適度に休養を取りたいと思う。また、全部一人で抱え込もうとせず、周りに相談する。そのほか、ストレスに対する考え方を変えたり自分の好きなことで気晴らしをしたりして、心の健康を保っていききたいと思う。
- 私は自分優先傾向であるということが今回の講義で学べた。自分でも感情の揺れ幅が大きいと考えていたため、そこを抑えるようにしていきたい。具体的には相手の話をよく聞き、他者を受け入れるようにしていきたい。
- 市民への説明だけでなく、報告や相談の際にも根拠を明らかにして説得力を持たせるとともに、普段の業務について見直し、効率化を図りたい。



■ハラスメント相談対応研修

- 相談対応者としての基礎知識を学び、自分自身の職場における言動、態度を振り返ることができた。
- 相談を受ける側としての在り方だけでなく、日頃の同僚とのコミュニケーションにも生かせる技術や心構えを学ぶことができた。
- ハラスメントの判断基準や話の聞き方等、大変勉強になった。
- 話し始める際の最初の言葉から、相手の仕草、話のまとめ方等、ほかの研修では教えてもらえないこと、もっと踏み込んでほしいと思うことを教えていただいた。相談業務で悩んでいる人や取り掛かりが分からない人はぜひ参加してほしい。



■コンプライアンスセミナー（第1回～第4回）

- 難しい研修かと思ったが、受けてみると業務の質と職場環境の改善に不可欠な研修だと感じた。
- 不祥事を未然に防ぐために、日頃から職員間で話し合いがしやすい職場環境を作ることが重要であり、そのためには適切なコミュニケーションを心掛けることが必要であることを学んだ。
- 不祥事は1人だけの問題ではなく、周りの人も関わっていかねばならないものと思った。また、不祥事は故意でなくとも起こりうるものであり、常に自分もその危機にあることを感じた。
- コンプライアンスに取り組むことが不祥事の発生を未然に防ぐだけでなく、業務の質を上げることや組織にとっても良い影響をもたらすことが分かった。



■公会計のための簿記セミナー（基礎編）

- 説明と演習が盛り込まれ、大変理解しやすい研修だった。大事なポイントは記入させるという手法も効果的で大変良いと思った。また自己学習では疑問だったところも今回の講義で理解でき、簿記初心者の方にとって大変分かりやすい講義だった。今後は、公営企業会計の例月出納検査や決算監査の実務に生かしていきたい。
- 公営企業会計について、貸方や借方の仕組みなどあまり分からなかったところを理解することができた。決算手続、財務諸表の作成、見方についてとても勉強になった。
- 企業会計の決算書を見るため、今回の研修はとても役立つ。次回の応用編も受講したい。
- 財務4表の作成までの過程や科目の意味など基礎的な所から知ることができたため良かった。



■公営企業会計セミナー

- 4月に異動したばかりで不安だったが、概要から丁寧に指導していただき、理解を深めることができた。
- 公営企業会計の基礎だけでなく、自分がどこに視点を置き何をしなければならないのかがよく分かった。自治体の状況が今どういう状況に置かれているのか理解できたので、身を引き締めたいと思った。
- 企業会計の利益は将来の建設改良等のための財源である、という話が特に印象に残った。また、担当者の判断によっては会計上は正しくても、経営上悪影響を及ぼすこともあるとの話を聞き、長期的な視点で広い視野をもって、日々の業務に取り組んでいかなければならないと再認識することができた。
- 簿記の仕訳では正解であっても、実務では違った仕訳になる場合もあるので、ケースバイケースでしっかりと仕訳をする必要があると感じた。



■人材育成基本研修（第1回）

- 人材育成の重要性を再認識できた。
- 研修担当として自他を見直すいいきっかけになった。効果的な人材育成を目的として、適切な研修関係業務に役立てたい。
- 悩んでいる後輩への助言や研修を勧め、より働きやすくなるようサポートしていきたい。



これから実施する各種研修のご案内

これからの実施予定の研修をご紹介します。興味をお持ちの研修がありましたら、ぜひお申し込みください。皆さんの受講を心からお待ちしています。

■OA研修（Word／Excel基礎コース）【ハイブリッド型】

WordやExcelを基礎から学ぶことができるコースです。

この研修は会場受講に加え、オンラインでも受講できるようになっていますので、研修会場まで足を運ぶことなく受講することができます。

Wordの入力や編集機能、ワードアート、Excelの入力手順や関数機能など、WordやExcelを基礎から学んでみたい方におすすめの研修です。

■こんな方におすすめ WordやExcelを基礎から学んでみたい方

■日程・会場 令和6年11月21日(水) 宮崎県ソフトウェアセンター ※オンライン受講ができます

■講師 宮崎県ソフトウェアセンター講師

■債権徴収事務研修（私債権）

債権徴収事務の中でも、私債権（住宅使用料、水道料金、各種貸付金、学校給食費等）に特化した、隔年開催の研修です。

債権管理の基本原則や徴収困難者と保証人への対応、不能欠損処理に関する注意点などを学ぶことができます。

■こんな方におすすめ 債権徴収事務のレベルアップを図りたい方

自治体債権に関する滞納整理手続きについて学びたい方 など

■日程・会場 令和6年11月28日(木)～11月29日(金) 自治会館3階大会議室

■講師 一般社団法人日本経営協会 講師 豊田 泰士

■公会計のための簿記セミナー（応用編）

簿記の基礎知識を有する方向けの研修です。

このセミナーでは、簿記のスキルアップとともに、減価償却や短期利益計画、損益分析を学ぶことで、予算編成のための現状分析力を身に付けることができます。

■こんな方におすすめ 簿記について詳しく学びたい方 地方公会計について学びたい方

簿記分析、損益分析を学びたい方

■日程・会場 令和6年12月5日(木)～6日(金) 自治会館3階大会議室

■講師 成田尚史税理士事務所 税理士 成田 尚史

■クレーム対応セミナー（第3回、第4回）

クレーム対応の基礎から悪質クレームに対する対応まで、広く学べる研修です。

この研修では、接遇と住民満足、自治体サービスの本質を考えながら、クレームについて正しく理解することができます。また、ハードクレームの定義や具体的な対応の流れを学ぶとともに、ロールプレイングを通して、ハードクレームに組織で対応する方法を体得できます。

■こんな方におすすめ クレームやハードクレーム対応に困っている方

窓口業務等、住民対応が多い方

不当な要求が寄せられる部門の方 など

■日程・会場 第3回 令和7年1月21日(火)～22日(水) 日向市役所4階委員会室

第4回 令和7年1月23日(木)～24日(金) 自治会館3階大会議室

■講師 結エデュケーション株式会社 代表取締役 高嶋 謙行

■定年延長職員セカンドキャリア研修（第2回）

定年延長の影響を受ける、又は受けた職員を対象とした研修です。

この研修では、これまでの経験を振り返り、「職業人生の充実とは何か」、「働く原動力は何か」ということを再確認するとともに、自身の強みと対処すべき課題を理解することにより、定年延長や再任用後も活躍できる準備を整えることをねらいとしています。

自分自身の経験の棚卸と自己理解、今後の職場への貢献などについて学びます。

■こんな方におすすめ 定年延長の影響を受ける、又は受けた職員

■日程・会場 令和7年2月4日(火) 自治会館3階大会議室

■講師 株式会社行政マネジメント研究所 専任講師 近藤 淳子

※宮崎県市町村振興協会ホームページ <https://www.miyazaki-shinkou.jp/>

市町村振興支援事業

1. 市町村窓口業務改善事業

この事業は、市町村振興協会が人材育成や教育等の専門企業と契約を結び、講師を関係市町村へ直接派遣して、窓口における現状のサービスレベルを調査及び評価し、その結果を基に市町村毎の改善提案及び研修を実施するものです。

集合研修のみで実際の窓口サービスを向上させるには相当な時間を要しますが、現状を知り、職員自らの力で問題の発見・解決を進めていくことで、早期に窓口サービスの更なる改善を図り、ひいては住民満足度の向上につなげることを目的としています。

(1) 事業概要

項 目	内 容
事前アンケート調査	調査対象の窓口職員へアンケートを実施する。 ①住民対応において困っていることなど ②窓口業務を遂行する上で困っていることなど ③上記について、改善に向けてどのような取組が効果的と考えるか。
窓 口 調 査	1 市町村 2 時間程度実施 ①基本的な接遇（あいさつ、表情、身だしなみなど） ②業務知識と説明能力（業務知識の把握、専門用語の配慮など） ③職場環境（各種申請書の整理、適切な案内など）
研 修 会	1 市町村 7 時間の範囲内で実施 ①窓口調査の結果報告 ②顧客満足の基本について ③基本的な接遇の確認 ④住民満足向上のための改善策など

(2) 令和 6 年度実施市町村

都城市、木城町、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町

2. 市町村・地域づくり団体等協働モデル事業

この事業は、市町村と地域づくり団体等が協働して行う、地域づくり推進のための研修会など事業実施に要する経費を助成することにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

(1) 事業概要

事業 内 容	助 成 団 体	①市町村 ②地域づくり団体等 地域社会の健全な発展を目的として、一定の地域の住民により自主的に結成された自治会、町内会等のコミュニティ団体、NPO 法人等の非営利団体（法人格の有無を問わない） ③市町村及び地域づくり団体等で構成する実行委員会等
	対 象 事 業	①地域住民が地域資源を再確認・活用方策を検討する場となり、地域発展に繋がる事業 ②テーマを設定して実施する事業 （観光資源・特産品・自然環境・景観・歴史・伝統芸能・防犯等） ③現地視察、ワークショップ、発表会等を組み合わせたプログラムによるもの ④新たに始める協働のモデル的な事業であること
	選 考	市町村振興事業推進委員による審査会において書類選考、プレゼンテーションにより選定。
	報 告 会	採択された事業については全て報告会において事業成果を発表する。
	助 成 金	対象経費の100%以下 上限50万円／1 団体

(1) 令和6年度取組状況

本年度は、3市から3団体の申請があり、3団体を助成対象としました。

●一般社団法人HUG（小林市）

事業名事業名【「手をつなごう！」異世代間交流プロジェクト～パート2】

●特定非営利活動法人ひむか感動体験ワールド（延岡市）

事業名【ふるさと教育体験活動強化事業】

●えんがわひなた（宮崎市）

事業名【シニアの居場所づくりを皆で応援】

*この3団体の活動内容は令和7年3月発行予定の「令和6年度宮崎県市町村振興支援事業報告書」に掲載し、県内各市町村等に送付します。

3. 市町村職員自主研究グループ支援事業

この事業は、市町村職員等で組織する自主研究グループ活動を支援することにより、職員相互の啓発意欲の高揚と職員の政策形成能力の向上等に寄与することを目的としています。

(1) 事業概要

事業内容	支援対象グループ	・当協会が主催する次世代職員の政策形成研修を受講する自主研究グループ、若しくは、県内の市町村職員等で組織する自主研究グループ ※職員が自主的に組織し、または、市町村の意向によって組織し、運営するものであること。 ※1グループ概ね4名以上で構成するものであること。 ※グループの構成は、単独市町村、複数市町村を問わないこと。 ※主たる構成員は市町村職員であること。 ※できるだけ、異なった職場の職員により構成されるよう配慮すること。 ※過去に本事業の助成を受けていないこと。ただし、研究テーマが異なる場合を除く。
	支援対象研究	・市町村等の活性化に資する新たな施策、事業に関する事項 ・市町村等の行財政運営の改善、改革に関する事項 ・その他行政の推進に関して参考となる事項
	支援グループの選考	市町村振興事業推進委員による審査会において書類選考、プレゼンテーションにより選定。
	報告会	調査、研究の活動成果を発表する報告会を実施する。
	支援等	対象経費の100%以下 上限50万円／1グループ

(2) 令和6年度取組状況

本年度は、3グループ（1市1村）の申請があり、2グループを支援対象としました。

●諸塚村自主研究グループ（諸塚村）

テーマ【職場環境改善及び暮らしの見える化】

●都城を担う子どもたちの応援団（都城市）

テーマ【不登校とひきこもりの当事者の実情の把握と今後の方向性】

*これらの団体の活動内容は令和7年3月発行予定の「令和6年度宮崎県市町村振興支援事業報告書」に掲載し、県内各市町村等に送付します。

ポートランド市は、持続可能な開発と環境への取組で知られるだけでなく、その美しい自然とアクティブな市民社会でも注目されています。市内を歩くと、公園や緑地が豊富にあるとともに、市民が自ら地域の美化に努めており、地域社会の一体感と責任感が感じ取れました。持続可能な開発への取組や市民の環境意識の高さは、行政と市民が協働して地域の未来を築いていく重要性を改めて示しています。

以上が今回の研修で最も印象に残ったポートランド市の概要ですが、実は上記の文章は生成AIが作成したものです。私が書きたいことを生成AIが忠実に文章にしてくれましたので、業務効率化も考慮し、大変恐縮ですが、そのまま掲載しました。

話が逸れましたが、昨年の海外派遣研修は4年ぶりの開催で、米国のポートランド市とロサンゼルス市を訪問しました。



ビトック邸からのポートランド全景

VUCAの時代とも言われるように、この4年間で世界は激変し、海外でもその一端を垣間見ることができる研修でした。上記のように文章作成を生成AIが担うようになったことは昨今の変化のほんの一例ではありますが、そのよう



ポートランド市内のごみ箱

な世の中において、地方公務員に求められる役割や能力も変化していると思います。2都市の各所を訪問し、前例踏襲や既得権益に捉



住民目線で導入された路面電車

われることなく、物事の本質を見極める重要性を学び、地方公務員としての使命感を再確認することができました。

末筆になりますが、今回の研修では、現地にて対応してくださった方々や市町村振興協会の皆様には大変お世話になりました。また、私は班長という役職を頂きましたが、研修を共にした他自治体の11名の職員の皆様からは、広範な知見や独創的な着想、そして刺激的なインスピレーションを享受しました。おかげさまで、市町村の発展や社会の変革に必要なことを学ぶ有意義な研修となりました。関係者の皆様に心から感謝申し上げるとともに、今後も海外派遣研修が成果豊かなものとなることをお祈り申し上げます。



ポートランド市の路面アートと街並み



ロサンゼルス市での集合写真



8月8日の日向灘沖を震源とする地震と28日からの台風10号により、多くの被害が発生しました。

被災された皆さんに対しまして、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

さて、今年の夏もかなり厳しい暑さが続いていましたが、お盆を過ぎたあたりからなんとなく風に優しさを感じてきました。

こうした中、ようやく「自治みやざきNo96」の発行を迎えました。発行にあたっては、今回も県内の多くの自治

体や一部事務組合の皆さんの協力をいただきながら、それぞれの市町村などの様々な情報を紹介することができました。改めて、今回の発行に際して快く寄稿くださった関係者の皆さんにお礼を申し上げます。

「自治みやざきNo96」が県内市町村をはじめとする関係者の方々に届く頃にはすっかり夏が終わり、実りの秋を迎え本格的な行楽シーズンが始まります。

「澄んだ青空 広がる海 高々とそびえる山々・・・素晴らしい景観にグルメに様々なイベント」

今回、紹介いただいた市町村を一つでも多く訪ねて行楽の秋を満喫したいと思っています。

ハロウィンジャンボ

5億円

1等・前後賞合わせて
1等3億円、前後賞各1億円

当せんの
チャンス広がる!

ハロウィン ジャンボミニ

5千万円

1等・前後賞合わせて
1等3,000万円、前後賞各1,000万円

パソコンや
スマホで
ネット購入!



宝くじ公式サイト

<https://www.takarakuji-official.jp/>

この宝くじの収益金は市町村の
明るいまちづくりや環境対策、高齢化
対策など地域住民の福祉向上の
ために使われます。

9月17日(火)同時発売

発売期間／9月17日(火)～10月17日(木) 抽せん日／10月25日(金)

2024年新市町村振興宝くじ

各1枚300円